

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

### 第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

#### 1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

全てのエネルギーの可能性を徹底的に掘り起こし、社会・経済活動を維持するための電力を確実に確保するとともに、原子力に依存しなくても良い経済・社会構造の確立を目指す。当面の最優先課題として、3年間、再生可能エネルギーの最大限の導入、省エネの最大限の推進を図ります。原発再稼働の可否について3年以内の結論を目指し、10年以内に電源構成のベストミックスを確立する。

#### 2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。  
( 年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれ

今後のエネルギー政策の根本に「安全第一主義」(テロ対策を含む)を据え、特に原子力政策に関しては、権限、人事、予算面で独立した規制委員会による専門的判断により再稼働について判断する。福島に津波は来ないという想定がなされていたように、原発にはテロリストは来ないという想定で、再稼働などが行われていますが、テロ対策も含む安全対策が行われねばならない。合わせ、当面のエネルギー政策として、全てのエネルギーの可能性を徹底的に掘り起こし、社会・経済活動を維持するための電力を確実に確保するとともに、原子力に依存しなくても良い経済・社会構造の確立を目指す。そのため、当面の最優先課題として、3年間、再生可能エネルギーの最大限の導入、省エネの最大限の推進を図る。

#### 3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた

原子力発電所の再稼働の可否については、順次判断し、全ての原発について3年以内の結論を目指す。安全性については、原子力規制委員会の専門的判断に委ねます。原発の再稼働には、まず、新しい安全基準の策定が必要です。そして新しい安全基準に適合するかどうかの確認が必要です。さらに活断層等の調査のように電力会社がやってきたものの再調査も必要です。きちんとその作業をするためには時間が掛かります。それに3年ぐらいかかるだろうという目安です。そういうことを考えれば、大間原発のように、簡単に再稼働することはできません。自民党が提案するように仮に再稼働するにしても、それには時間を掛け、安全をしっかりと確認すべきでしょう。

〒080-0803 青森市東3条南13丁目19番地  
**中川ゆうこ事務所**  
 電話 (0155) 27-2611 番

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

## 第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・断固として認められない。
- ⑨ 真重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- ・知っている。
- ⑥ 知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

「脱原発依存」であることは、はっきりと掲げます。「脱原発」の時期について、これまでのような原発推進ありきでのエネルギー政策からは転換し、脱原発に向けて、現実的な道筋をつけていけるように国の責任として努力し続けることが大切です。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- ・機会があれば参加したい
- ・考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。

〒080-0803 帯広市東3条南13丁目19番地  
**中川ゆうこ事務所**  
 電話 (0155) 27-2611 番